

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語論理・表現入門ⅠA	
科目基礎情報							
科目番号	2019			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気電子工学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	はちの発音 ハミング8メソッド 大庭まゆみ著 著 いいずな書店、キクタン英会話[海外旅行編] ハミングバード、Listening Studio Standard いいずな書店編集部 一杉武史 アルク						
担当教員	嵯峨原 昭次						
到達目標							
1. ハミング発音step1-2の体操ができる。 2. ハミング発音Step3の音の形ができる。 3. ハミング発音Step4の音のもと（母音、子音、Lの音、Rの音）が発音できる。 4. ハミング発音Step5の音の動きが発音できる。 5. 英語で自己紹介ができる。 6. クラスメートとペアーを作り英語で対話を発表できる。 7. 準2級リスニングレベルの問題を解くことができる。 8. 英会話表現を認知することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ハミング発音step1-2の体操テストで8割以上取得できる。			ハミング発音step1-2の体操テストで6割以上取得できる。		ハミング発音step1-2の体操テストで6割以上取得できない。	
評価項目2	ハミング発音Step3の音の形テストで8割以上取得できる。			ハミング発音Step3の音の形テストで6割以上取得できる。		ハミング発音Step3の音の形テストで6割以上取得できない。	
評価項目3	ハミング発音Step4の音のもと（母音、子音、Lの音、Rの音）発音テストで8割以上取得できる。			ハミング発音Step4の音のもと（母音、子音、Lの音、Rの音）発音テストで6割以上取得できる。		ハミング発音Step4の音のもと（母音、子音、Lの音、Rの音）発音テストで6割以上取得できない。	
評価項目4	ハミング発音Step5の音の動きテストで8割以上取得できる。			ハミング発音Step5の音の動きテストで6割以上取得できる。		ハミング発音Step5の音の動きテストで6割以上取得できない。	
評価項目5	原稿を暗記して、正しい英語発音で、説得力のある英語で発表できる。			原稿を暗記して発表できる。		原稿を暗記して発表できない。	
評価項目6	原稿を暗記して、正しい英語発音で、説得力のある英語で、ペアーで自然に発表できる。			原稿を暗記して発表できる。		原稿を暗記して発表できない。	
評価項目7	英検準2級リスニング問題20問中16問以上正解できる。			英検準2級リスニング問題20問中12問以上正解できる。		英検準2級リスニング問題20問中12問以上正解できない。	
評価項目8	英会話表現テスト（満点25点）で20点以上取得できる。			英会話表現テスト（満点25点）で15点以上取得できる。		英会話表現テスト（満点25点）で15点以上取得できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	発音、リスニング、スピーキングを基礎から演習し、後期の英語論理・表現入門ⅠBにつなげる。また、その成果を英語Ⅰ、Ⅱの総合学習に活用する。						
授業の進め方・方法	授業の大半を英語で進める。 英語の発音授業は、専用DVD、鏡を利用して、担当教員が詳細に説明し、数週間後発音実践試験が実施される。また、発音授業についていけない学生のために補講や個人指導がある。 リスニング・スピーキングの演習等、CDプレーヤー、DVD機器を利用して進める。						
注意点	図書館ラーニングコモンズ教室で失敗を恐れずに積極的に英語をしゃべること。発音・スピーチ・リスニングの諸活動に積極的に参加すること。評価のほとんどは実践的な活動で評価するので、発表、インタビューテストなど真面目に取り組むこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Pronunciation(Step1)		Step1の体操ができる。		
		2週	Pronunciation(Step2)		Step2の体操ができる。		
		3週	Pronunciation(Step3, Step7)		Step3・Step7の音の形ができる。		
		4週	Speech①(自己紹介)		英語で自己紹介ができる。		
		5週	Listening①		リスニング教材を利用して準2級リスニングレベルの問題を解くことができる。		
		6週	表現①		対話（基礎）表現、対話（感情）表現を認知することができる。		
		7週	その他①（強弱読み、フォローイング、絵カード説明、スピーキング）		実践演習ができる。		
		8週	Pronunciation(Step4)		step4の音（母音、子音、Lの音、Rの音）ができる。		
	2ndQ	9週	Pronunciation(Step5)		step5のもと、Step5の音の動きが発音できる。		
		10週	Speech②(対話)		クラスメートとペアーを作り英語で対話を発表できる。		
		11週	Listening②		リスニング教材を利用して準2級リスニングレベルの問題を解くことができる。		

		12週	表現②	対話（基礎）表現、対話（感情）表現を認知することができる。
		13週	その他②（強弱読み、フォローイング、絵カード説明、スピーキング）	実践演習ができる。
		14週	その他③（強弱読み、フォローイング、絵カード説明、スピーキング）	実践演習ができる。
		15週	試験の答案の返却・解説	試験において間違えた部分を理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文社会科学	英語	英語	聞き手に正しく伝わるよう、語・句・文における強勢、文におけるリズム・イントネーション、音のつながり・区切りを意識しながら明瞭に音読あるいは発話できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				中学校までに学習した語彙の定着を図り、高等学校指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な語彙を習得して適切に運用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				中学校までに学習した文構造及び文法事項に加え、高等学校学習指導要領に準じた文構造及び文法事項について習得して適切に運用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				日常的な話題や社会的な話題について、はっきりとした発音で、調整された速さで話された内容から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				日常的な話題や社会的な話題について、基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを話すことができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				日常的な話題や社会的な話題について平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握して必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢を持ち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト）を適切に用いることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	異文化、多文化について説明できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

				多様性の概念及びその重要性を説明できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
--	--	--	--	----------------------	---	--

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0